



太成学院大学 www.tgu.ac.jp

〒587-8555 大阪府堺市美原区平尾 電話 072-362-3731/FAX 072-362-0598 監修:学校法人 天満学園 学園企画室

第22号

就職内定企業速報

(2006年10月7日現在)

- 【金融・保険】 明治生命保険(株)
- 住友生命保険(株)
- 日本生命保険(株)
- 【製造・化学】 ミツビシ電機(株)
- 【製造・電子】 三和電子サーキット(株)
- 【製造・金属】 大阪五通鋼業(株)
- 【卸・販売】 (株)ダイエーグループ
- (株)アールキャスト
- ホテル第一
- (株)アサヒ
- (株)ロイヤルコーポレーション
- (株)東洋
- 【商社・二輪・自動車】 (株)レッドパン
- トヨタカローラ広島(株)
- (株)アールキャスト
- 【建設・不動産】 フジ住宅(株)
- (株)カワセ
- (株)アールキャスト
- 【アミューズメント】 (株)ダイナム
- カト・ブルジョアグループ
- (株)アールキャスト
- 【流通・ファッション】 (株)ユニース
- 青山商事(株)
- (株)アールキャスト
- (株)アールキャスト
- 不二商事
- 【福祉・介護】 (株)アールキャスト
- (株)アールキャスト
- 【製造・食品】 友和食品興業(株)
- 【フードサービス】 (株)アールキャスト

就職内定通知が続々!!

採用側が求める能力を高めよう

昨年から学生には、有利になっている就職戦線! しかし、希望の企業への内定は難しい場合も、原因を分析するとさまざまなパターンが見受けられる。

目的の企業分析も出ているのに、なぜか最終面接で落ちる.....。面接の内容を聞き取り、分析すると一つの共通点が見えてくる。

- ①発言が消極的である。
- ②どこか元気がない、覇気が感じられない。
- ③場数を踏んでいないので、上がってしまい何を言っているのかわからなくなる。

それでも最終面接で内定を獲む方法
採用側からすれば、明るく元気な学生、コミュニケーション能力や創造力などの、学力だけでは計り知れないモノを持った学生を望んでいる。キャリアサポートセンターに来てくれる学生とセンター職員とが一緒に、何が原因だったのが突き止めていく。次回の最終面接で内定をもらう学生が増えはじめた。

ただ、ここでも言える事は、こちらのアドバイスを聞き入れてくれる学生は、内定につながっているが、「我が道を行く」という学生は難しいようだ。その中で内定をもらっている学生は、採用側が求めている明るさ、創造力、コミュニケーション能力が優れている場合に限るとしてもよいから...

就職活動は早くから...
一部上場企業からも内定をいただいている。1年次生から3年次生は、今からでも実行すべきことがある。第一には、就職活動に必要なお金を貯めておこう。思っているより企業説明会や面接に行くたびに交通費がかかる。第二は資格を取る。希望する職種に必要な資格を、学生時に持っているとう然有利。営業職を希望しているならば、販売士や普通自動車免許が要件といえる。また職種に関係なくパソコンを扱える証明としてマイクロソフトオフィススペシャリストのWord、Excelは、いまだきの必修だ。

1年次生から就職活動が始まっていることを認識して、キャリアサポートセンターには気軽に足を運んでほしい。(キャリアサポートセンター)



就職第一セミナーを受ける (足立記念館記念ホール)



堺市栄誉賞を受賞した中村智太郎さん



銅メダルの中村選手

「堺市栄誉賞」受賞に輝く
アネバハリニック銅メダルの4年次生 中村智太郎さん

7月26日(水)に堺市開庁記念式典で、人間学部心理学科4年次生の中村智太郎さんが「堺市栄誉賞」を受賞した。同記念式典で今回(第118回)は功労者5人を含む130人25団体が木原政介堺市長から表彰状を受け、

栄誉賞はスポーツ、文化などの分野で顕著な活躍をしている人、団体に贈られるもので中村智太郎さんは、平成16年9月に開催された「アネバハリニック競泳男子1000m」平泳ぎにおける銅メダル獲得をはじめ幾多の競技大会において優秀な成績を収めたとして、その努力が認められたのである。

堺市民会館大ホールの上で中村さんが上がって、名前と功績がスピーカーから流れると、満場の拍手に包まれた。その姿は努力に培われた自信に包まれていた。

なお中村さんが12月に南アフリカで開催されるIPC(国際パラリンピック委員会)世界大会に出場するための支援を、いま学生友会が中心になって取り組んでいる。

オープンキャンパス賑わう

夏の盛り期の7月22日(土)から10月7日の最終回を残して5回の開催で昨年度を40%上回る来場者を迎えている。今年度は教員免許などの資格取得、就職・進学に対して関心が集中している。

教職員による高校訪問に始まり、在学生のキャンパス案内、クラブ部員の応援を受けてのスタートだった。

今年度のオープンキャンパスの特徴は

- ①入試情報説明会の毎回実施
- ②看護学部(認可申請中)の体験コーナー
- ③研究室の公開(公開授業)の拡充
- ④古いコナナ、学食体験の拡充

などである。アンケートによると、学食体験が好評で、印象に残ったプログラムは、「UFCキョウチャール」入試情報説明会、「AE面談」がベスト3であった。



入試情報説明会の一コマ (足立記念館記念ホール)

環境観測研究室

台風をハッチリ捉える精巧さに人気集中
環境観測研究室(人間学部) 竹原伸教授
総合経営学部・村田支教授)では、3年前から取り組んでいるシステムの一部を使って9月16日(土)のオープンキャンパスで、台風13号を捉えるなどの実演で、見学者を釘づけにした。



捉えられた台風13号の画像

看護学部(認可申請中)コーナー

平成19年4月開設予定の看護学部見学コーナーでは、看護に必須の三つの疑似体験ができるように準備した。「高齢者体験用モデル」がその一つ。沐浴用モデルでは赤ちゃんの重さ(3kg)を人形で実感できる。さらに、血圧測定と救急蘇生法が体験できる。

なお看護学部では、実践的な実習が展開できる多彩な学問領域の教員構成を整えているのはもちろん、看護学専門分野全域を網羅した、豊富な臨床実習先を準備している。



高齢者体験用モデルを身につける

教員構成を整えている。(予定)
専任教員19人(教授:11人、准教授:1人、講師:6人、助教:1人)
兼任講師14人(完成年度)・助手8人

保有学位	医学博士	理学博士	農学博士	工学博士	修士	学士	計
3人	1人	1人	1人	7人	6人	19人	

教員の免許	看護	保健	助産	医師	薬剤	介護支援専門	精神保健福祉士1級	看護教諭	産業保健	計
専任	13	5	1	1	1	1	2	3	3	30
兼任	3	3	1	1	1	1	2	3	3	8
計	16	8	1	2	2	2	4	6	6	38

整えている看護学部臨床実習施設は下表の通り。(予定)

病院	19か所	堺市保健所	6か所
訪問看護ステーション	15か所	大阪府保健所	11か所
介護福祉施設	6か所	堺市保育所	28か所
介護保険施設	6か所	幼稚園・健康センター等	若干

「インターンシップ」で就職を体験

本校は03年4月より高等学校で、情報が必要の教科となつて以来、学生が自分の持つ情報処理関連の知識・技能を活かせるインターンシップとして、各高校で就業体験できる。この本学のインターンシップ(情報)は、学生にとっては教育現場を経験することで、就職活動にプラスになるばかりか、所定の時間

間を勤めれば単位が取得できるというところ、応募者は増加傾向にある。

異雄洋さん(経営情報学科4年次生)が大府立住吉高等学校で3か月を終え、阿智由佳子さん(心理学科3年次生)が大阪府立泉南高等学校で9月から来年3月まで、「情報」の授業時間、教諭の補助を務めることになった。



住吉高校でインターンシップをする異雄洋さん

学外教育研究活動

総合経営学部 島崎平三郎教授

校長・教頭先生に教育講演
8月21日(月)、四條畷市の公立小・中学校の校長、教頭先生の「四條畷市教育管理職夏季研究会」からの要請で講演した。
同市・阪国文夫教育長ほか約40名に、先週に学ぶ日本の公教育の復活」のテーマで講演した後、質疑応答で1時間半を締めくくった。



島崎平三郎教授
講演の要旨は以下
の通り。
「かつては日本の公教育は学力・生活

人間学部 尾上 孝利教授

親子体験学習「ミクロの生物観察会」
新大阪駅そばの日立ハイテクノロジスタで、8月6日(日)、第1回「ミクロの生物観察会」を主催した。事前に応募していた38組(小学生は親子)が、植物、虫やお菓子など思い思いのものを持ち込んで、電子顕微鏡による5000倍の画像を見入っていた。これらはCDにも入るので、夏休みの宿題用としても重宝されている。



尾上孝利教授
西地区実行委員会代表
尾上孝利教授は、代
理に2回開いている



電子顕微鏡で観察する参加者と尾上教授

習慣において世界一と言われ、各国より羨ましがられていた。一方でアメリカやイギリスの先進国はドラッグや銃の乱射など教育が崩壊し学力も低下して

しかし、その後逆転の状況は逆転。日本は低迷し、教育の荒廃が進んでいった。トップを切っていた国際学力調査でも、日本の順位が大幅に後退した。
以上の講演を通して、低迷する日本の国力の背後にある学力崩壊の原因と公教育回復のための処方箋を、欧米と日本の現場の事例を挙げて、その道筋について先生方と一緒に勉強した。
出席者の非常に感動した面持ちから、今後の教職活動に活かしたいという熱い思いがひしひしと感ぜられた。

総合経営学部 吉川 博史教授

教育システム情報学会第31回全国大会)
8月23日(水)から3日間、大阪経済大学で開催された「教育システム情報学会」の定期大会で、講演の座長を務める一方、教育システム関連業者(21社・団体)の出展の幹事をこなし、
基調講演「特別講演およびパネル討論会」で12件、研究発表269件をこなしたが、吉川教授は「ゲーム・シミュレーション」をテーマにした7件の一般講演の座長を務めた。



吉川博史教授
文部科学省、経済産業省など5団体、協賛14団体

総合経営学部 寺本 光雄教授

「持続可能性」研究会に参加
9月5日、バンクーバーにあるブリティッシュ・コロンビア大学で開かれた「持続可能性」に関する研究会に参加した。
現在、グローバル化の進展と地球環境問題の深刻化は世界規模で進行しているが、その影響はさまざま分野で地域に及んでおり、持続可能な地域社会づくりが重要な課題になってきている。会場の同大学は社会・経済・生態の分野ごとにサステナビリティの目標を設定している。この研究会には打ってつけの大学であった。



寺本光雄教授
本研究会には打ってつけの大学であった。

SAに芽生えるプロ意識

先輩学生によるパソコンサポート



総合経営学部1年次生の「情報処理演習2」(本館3階マルチメディア実習室)

「教育職員免許課程 ガイダンス」を行う

教務課

去る6月30日、7月7日、7月14日の3回に亘り、足立記念館ホールと本館3階多目的教室において、1年次生から3年次生および3年次編入生を対象に2006年度(平成18年度)「教職課程ガイダンス」を行った。
1年次生に対しては教職希望調査を、2年次生と3年次編入生に対しては教職申請書を行った。教職課程申請者数は、1年次生は人間学部心理学科17名、人間文化学科14名で、人間学部の合計158名の申請があった。総合経営学部経営情報学科が41名、経営情報学科は5名で総合経営学部の合計教職課程申請者は46名であった。2年次生は人間学部心理学科18名、人間文化学科50名で、人間学部の合計68名の教職課程申請があった。3年次編入生は、人間学部の学生18名の出席



3年次生の教職免許課程のガイダンス

前年度から本学で導入したSA(Student Assistant)制度について、今年度も学生内選考をパスした11名の先輩学生が、新入学生のパソコンの機能・操作方法に関する疑問や質問に答えるSAとして、情報実習授業や昼休みに実習室で活動している。

SA制度は、学校法人天満学園の70周年記念事業の一環として昨年4月に本学でスタートした。前年度は春夏期の実施であったが、今年度はその効果の大きさを踏まえ、春夏期および秋冬期で計画・活動するべくSAを配置している。
前年度のSA経験者(3名)を中心に、SAと新入学生間でのコミュニケーションはもちろん、担当教員との関わり方や新入学生へがあり、また3年次生は11名が教育実習参加者事前登録を済ませた。

「環境の科学」授業で博物館を見学

総合経営学部1年次生(経営経済学科・ABCクラス、経営情報学科・ABCクラス)37名は、7月12日(水)の午後、狭山池博物館で授業を受けた。
尾上孝利教授(人間学部)の「環境の科学」授業で、稲作と水の関係を理解することが目的であった。この博物館では切り出されて水リエンジニアリング処理がされた、敷設工法の土手の標本「桶門の本奈良時代(江村時代)」などを観察した。館外では、本池の浅い面積を見学して4時限目の授業を終えて、大学バスで帰校した。
この学外での生きた授業は、学生にとって今後の4年間での研究のページとして残ることになるであろう。



博物館員から稲作と水の科学的関係を聞く

のサポート方法など、SA同士の情報交換も盛んで学部・学科・学年を超えた学生の輪が広がっている。
一方、SAの補助を受けた授業担当教員から次のような所見が寄せられた。
「どのSAもたいへんよく取り組んでくれてクラスを学生ともよく取り組んでくれています」
「1年次生も、先輩がそばに居ることで授業に親しみが持てるようだ」
「学生の学修意欲の高揚から考えて、授業の補助は非常に有効。SAを担う学生にも良い経験となる」と増えてくれることを期待する。

SAの中には担当する授業の前に担当教員の研究室を訪ね、授業の進め方を確認したり授業で使用するテキストを予習して授業に臨む者も増えてきている。

情報リテラシー教育委員会では、SA自身も一段と成長し活躍の場を広げるものと確信している。(情報センター)

ラフティングで実習

「レクリエーション指導者資格 必須科目」の一つ
充実感と達成感を味わうひととき

集合場所までウェットスーツに着替えてからインストラクターの安全について話しを聞くうちに、不安と期待の混じった複雑な表情に変わっていった。引き続きパドルの操作法を練習してから、8人ずつゴムボートに分乗しての基本動作・操作法を練習。急流に出たからは、歓声とも悲鳴ともつかない声が続いていたが、5時を40分60分まで全ラフティングが無事に終了した。
この実習は自然を相手にした時の安全性に加え、チームワーク、コミュニケーションなど実には収穫の多い半日の学修であった。

始めて3年目のラフティング実習が2006年参加して、7月15日(土)、時折降る雨の中で行われた。この実習は、自然の中で安全な行動・規律ある集団行動の体得、責任感や連帯感の涵養、体力の向上などに役立つ指導法を体得することが目的。自然の状況が的確に把握しながら、同じラフト(ボート)に乗った仲間と力を合わせ、目的の地点に着く過程で協調性を養って



自然を満喫したひととき



チームワークで難所にチャレンジ

【ラフティング参加学生の声】

人間学部人間文化学科1年次生 米田勇太さん
前の日は明らかに怖そうだったのが一番後ろに座った。インストラクターの方に「怖い？」と聞かれて、怖すぎて返事もできなかった。どこに座ればバランスがとれるかなど、いろいろな事を教えてもらい、段々と怖さが薄れてきた。
右側の人と左側の人との力が大きく違ってくる方向に狂いが生じるので、調整が必要になる。つまりチームワークが重要となる。難しいことだがインストラクターの方が指示してくれただけで、ちゃんとできた。
初めて経験したラフティングで最も感じたことは、仲間とのチームワークの大切さ、自然の大切さです。機会があればぜひ再挑戦したい。
人間学部人間文化学科1年次生 辻登絵さん
待ちに待ったラフティング実習。本学を選んだ理由の一つでもありました。昼の1時半集合だったので、あまりにも楽しめたので12時に到着する計画を立て実行したほどです。
ヘルメットをかぶりライフジャケットを着、オールを持って川へ移動し、ウキウキしていました。オールの持ち方や落ちた時の対処法、助け方などインストラクターの方の説明はどれも勉強になりました。
楽しかったのですが、思ったよりもリリルがなくて少し残念でした。吉野川のラフティングは半端ではなく楽しいそうなので、ぜひ挑戦したいと思っています。
人間学部人間文化学科1年次生 谷島大志さん
今回の実習は楽しみにしていたが、想像以上に楽しく勉強になりました。大自然に触れ合いながら仲間と協力することの大切さや難しさ、そして楽しさまでも体験することができました。
普段の生活では体験できないような、きれいな環境での実習心がけられた。途中に川で泳げる場所もあり、日ごとのストレスを吹き飛ばすほどリラックスできてきたこともよかったです。
インストラクターの方の指導法、人柄、話術などは指導者を目指す者にとって良い勉強になりました。レクリエーション・インストラクターの資格を取る取れないにかかわらず、自分のスキルをアップさせる実習にすることができました。

学友会総会

学友会

会長、役員を選出

クラブ委員会も始動



会長、役員を選出した学友会総会

この総会では、平成17年度事業報告・会計決算の会計監査報告および、平成18年度事業計画(案)、会計予算(案)も全会一致で議決された。

選出された役員は次の通り。
会長 中出 是るか(心理学科3年次生)
副会長 渡部 哲也(心理学科3年次生)
書記 中本 武緒(心理学科2年次生)
会計 桑原 駿(倫理文化学科1年次生)
小田 成久(心理学科1年次生)
会計監査 林 若実(心理学科3年次生)
学友会の下部組織である「クラブ委員会」が開かれ、平成18年度役員を選出後、部活動援助費を予算化し、承認を得るべく学友会役員会に提出した。

平成18年度 各部 部長名簿(2006年9月現在)

部	部長(敬称略)	部員数
硬式野球部	榊垣 将大	47人
女子駅伝部	森本 恵	4人
陸上競技部	山本 雅紀	47人
テニス部	増谷 有亮	23人
男子バレーボール部	黒木 恭平	14人
女子バレーボール部	湯浅 実華	7人
スキー部	有山 諒	4人
バスケットボール部	山田 祐太	23人
バドミントン部	植村 智佳	22人
サッカー部	高田 亮	27人
ダンス部	鈴木 孝昌	18人
軽音楽部	濱口 雄太	30人
イベント企画部	日高健次郎	7人
茶道部	柿本 知里	7人

同好会・準備会	部長(敬称略)	部員数
レクリエーション活動部	林 芳実	7人
尺八道好会	橋本 千穂	7人
トレーディングカードゲーム	石川 達也	7人
アスリートクラブ	北村 泰	6人
軟式野球同好会	大橋 正典	10人
3on3バスケ部	高橋 弦矢	6人
軟式卓球サークル	金子 慎治	14人
トラベリングサークル	山口 友敬	16人
準硬式野球部	和泉 謙太	12人
剣道同好会	大澤 智之	12人
フットサル部	川崎 一真	13人
同人ゲーム作成同好会	納城 優季	4人
ゴルフ同好会	西野 弘晃	9人

合格奨励金授与式

3資格で33名に

本年度最初の合格奨励金の授与式が6月21日(水)、本館202教室で行われ、「合格奨励金授与証書」が、人間学部19名には人間学部長 春田利雄教授から、総合経営学部の14名には総合経営学部長 山田晃教授から一人ずつ授与された。

今回の3対象資格は福祉住環境コーディネーター2級、日商簿記3級およびマイコンソフト オフィス スペシャルリスト エクセルである。合格者は、それぞれ1名、1名、31名。また、2年次生が13名、3年次生が4名、次生は10名ずつであった。



合格奨励金を受け取る資格合格者

た(1名)のは賞賛できるが、日商簿記3級の合格者が1名だった。たのは、今後のプログラムの課題である。

Profile

女子駅伝部コーチ 後藤 直美さん

学生時代は陸上一筋

中学そして、太成学院大学高校、京都教育大学の10年間、陸上競技一途だった。高校からは円盤投げにのめり込んで、インターハイ、インカレで6回も全国優勝している「アスリート」である。コーチを引き受けてからの最大の悩みは、部員が5人と少なく他部からの応援がないとエントリーすらできないこと。まずは選手との強い信頼関係を築くことが重要と考え、朝練に出てコミュニケーションを図るなど、2年次生中心の若いチームをまとめることを、優先課題にしている。

9月24日の「関西学生対抗女子駅伝競走大会」(6区間30分)を目指した合宿に加わり、身体のケア、心・技・体の、のりかた等アスリートとしての基礎を指導しつつ本人の自主性を優先するという考えを貫いた。この大会では13位と実力が出しきれなかったが、次には1時間52分以内を目標に見据えている姿や日頃の指導等から、将来の期待できるチームづくりには欠かせないコーチと見つけた。

後藤 直美さん(左)と部員たち(右)の練習風景

レクリエーション活動部

指導に有意義な一日を

認定校レクリエーション交流大会で

7月9日(日)に大阪市立西高等学校で開催された「課程認定校レクリエーション交流大会」に、本学も参加した。

また参加者に交じってレクリエーションをする楽しさや、仲間とチームをやり遂げた達成感を味わった。さらに他校のフリスビーを観ることで、参考・勉強すべき課題が見えてきた。この大会は、今後の経験を余すことなく活かすべく、今からワクワクしている。(レクリエーション活動部部長 林 芳実)

硬式野球部

2選手が表彰

近畿学生春季リーグ

硬式野球部が加盟している近畿学生野球連盟の春季リーグ戦が終了。成績が発表された。6校で戦った部は、8勝4敗勝点4で惜しくも優勝は逃したものの、2選手が表彰された。「ベスト9」に選出された坂井泰仁選手(写真右)、「敢闘賞」に竹中裕(写真左)に表彰された。投手の防禦率2位と最多投球回数が評価されたものである。

大会に、レクリエーション活動部と補助学生で初めてフリスビーに参加した。自分たちのフリスビーに参加しようとする。このように、指導する立場にある。初対面の学生を前に指導する難しさを感じた。一日でもあった。あわせて、将来インストラクターを目指す者にとって貴重な経験であった。

大会の様子(写真)

学友会会長あいさつ

充実した学生生活のために

人間学部心理学科 中出 是るかさん
私が今年度の学友会会長に立候補したのは、昨年の大学祭で実施委員長を務めた経験が、私にとって大きな励みとなった。学友会は、学生一人ひとりのキャンパスライフをよりよきものにすることを目的として、自分自身のキャンパスライフを唯一無二のものにするためなら、持っている力を何十倍何百倍にも高める所存です。

学友会会長として、学生の一人として、充実したキャンパスライフを送るために、笑顔で精一杯頑張ります。よろしくお願ひします。(学友会会長 中出 是るか)

図書館より

特設推薦書コーナー

特設展示コーナーには、本学の教職員が新入生にすすめる図書を一定の期間展示する。大学生として過ごすために読んでおいてほしい本や、各専門分野の基礎となるべき本、幅広い教養を身につけるために読んでおきたい本など、新入生にぜひ読んでほしい本であり、在学生の人にもおすすめの良書である。ぜひ活用を期待している。

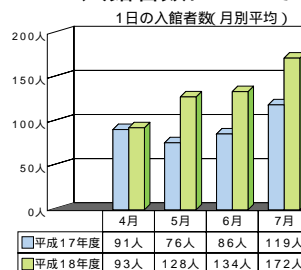


特設推薦書コーナーの様子

本学教職員が新入生にすすめる書物として...

No.	書名	著者名	推薦者
1	アスベスト禍 国家的不作為のツケ	栗野 仁雄	尾上 孝利先生
2	しあわせの雑学	近藤 勝重	黒川 正剛先生
3	中世の窓から	阿部 謙也	雑賀 亮一先生
4	心を鍛える言葉	白石 豊	佐笠 好英先生
5	図解雑学 武士道	岸 祐二	中村 明德先生
6	国家の品格	藤原 正彦	若宮 達夫先生
7	私の心をつかんだ大物たち【一流人間生き方学】	竹村 健一	
8	不可能を可能にした男	籾 笠子	

入館者数について



読書週間始まる

友だちの大切さ分かる本
人間学部 心理学科 2年次生 橋本 千穂さん
推薦図書「きみの友だち」 重松 清春
この本には短編10話の、友だちの話が綴られていて、この歳で「友だち」なんて単語は少し恥ずかしいが、友だちを中心に生活が回っていた時のことを思い出させてくれる。自分にもこんなことがあったかもしれない。そう、思わせてくれる本だ。

この本はある人の目線から書かれている。それが誰かというのば、ぜひ読んで知ってほしい。

文献検索用データベース

Cinii 導入
図書館では、学生サービスと、図書館の活性化を目指しております。その結果、入館者も年々増え利用率も飛躍的に向上した。そこで、従来の文献検索用データベースCiniiを8月より導入した。(詳細は次の通り)

全館導入件数 国内約610機関 海外10機関

所蔵文献数 約1000万件(内300万件がフルテキスト)、主本文献 大学紀要、学会誌、NDL雑誌記事索引、アドレス、Ethos、cinii、電子図書館HPのリンク集(参照)
また、「サイトライセンス個人ID」取得もできるので図書館カウンターまで相談。「サイトライセンス個人ID」を取得すれば、
NII電子図書館のうち機関定額制での利用が許可された論文本文を自宅からでも自由に利用できる。また、機関定額制での利用が許可されていないコンテンツについては、従量制利用料金を支払うことで利用できる。ただし、「サイトライセンス個人ID」取得については、あくまでも個人契約になる。

自然に話せる英語力に感動

ニュージーランド研修で

8/26
~ 9/15

8月26日(土)から9月15日(金)にかけてニュージーランド研修が実施された。3年ぶりの実施となる研修の目的は、実用的な英会話力の向上と、日本とは異なった生活習慣及び文化を身をもって学修することにある。滞在したのは田園都市と呼ばれる、ニュージーランド第3の都市クライストチャーチであり、その名のごとく街の中心を取り囲むように緑豊かな木々が生い茂っていた。

研修校は Christchurch College of Education。研修生である学生はそれぞれホームステイする。ホームステイでの生活は慣れ程度にもよるが、大半の学生は最初、苦労を余儀なくされた。しかし、語学力を向上させること、異なる文化を短時間で吸収する



緑豊かなクライストチャーチの牧場で

ためにはこのような環境が最適である。研修生である学生と共に学び、教員がホームステイでの生活を伝えることは学生の気持ちを理解する上で勉強になる。最終日には一人ひとりに英文の修了証書が授与された。今回の研修を無事に修了したこととなった。研修校での語学実習と課外活動、及びホームステイでの余暇の時間を通して生活習慣を学び、異文化を実際に目で見て得たことは、研修生の間では程度の差こそあれ、またとない経験であったことと思う。



研修校での紹介に緊張

太鼓の叩き手「願人」に「大阪天神祭」

人間学部人間文化学科2年次生

吉中 希さんが選出される

7月24日、25日開催された日本三大祭りの一つである大阪天神祭で太鼓の叩き手、願人として選出された。吉中希さんは野球場(内野手)で日頃の練習以上に努力を重ねた賜物であり、この経験は今後の糧となる。

大阪天満宮を中心とした天神祭は多くの講人(または講社)によって支えられていて、願人を含む太鼓関係の催しを担う太鼓中、



上に乗っている左側手が吉中さん

フォト・ニュース

月下美人、真夜中のワンマンショー



尾上孝利教授(人間学部)が育成後、本学正門横に移植された「月下美人」が七夕の夜に、見事に5輪も咲いた。この美人は夜10時頃から5時間ほどの「薄命」で知られている花である。

写真提供...守衛室 桂木健次氏
花ことは...はかない美、はかない恋、繊細、快樂
開花期...6月~10月(夜開性)
原産地...メキシコ原産・サボテン科

併設校 TOPICS

セレッソ大阪U18監督 副島博志氏を迎えて小・中生を対象にサッカークリニックを開催

(清滝入本・ツツヒルズにて)



全面天然芝のサッカーグラウンドで



全面天然芝のサッカーグラウンドで

大成学院大学中学

9月2日(土)、全員無事に帰国した。

サマースクールで

生活態度を改善

1・2年生は、夏休みの自己学習の成果を測る宿題テストに取り組み、8月31日(木)からは集団生活を通じ、学校生活を再見直し、学習意欲を高める、サマースクール(兵庫県)を行い、爽やかな秋を迎えてセカンドタイムに対する心構えと生活態度の準備を完了した。

修学旅行を通じて大きく成長



残暑厳しい8月25日(金)、中学校は始業式を行い、セカンドタイムが始まり、3年生は関西国際空港に集合をし、山田校長先生をはじめ保護者の方々に見送られ、オーストラリアへホームステイを中心とした修学旅行に出発した。旅行を通じて、日本ではできない貴重な体験をし、異文化に触れ、心の成長とともに

境内でのだんじり囃子の演奏、踊りの奉納等を担当する。地車講、船渡御の船を世話する「御船講」などがある。

「太鼓中」は12の当座(グループ)があり、その一つが村当座から選ばれたのが吉中希さんである。太鼓の叩き手は大正時代の無形文化財となっている。太鼓は豊臣秀吉から贈られた由緒あるものである。太鼓の叩き方や釘などを一切使わずに太鼓の組み上げ方を次世代に伝承していく役割を担っている。

誰もが安全に遊べる環境づくりを目標とした「にっこりキッズ」キャンペーンが大成学院天満幼稚園で行われた。かわいらしい絵が描かれた「にっこりキッズ」が楽しい音楽と歌とともに天満幼稚園にやってくる、大きな歓声が上がる。

7月19日・20日、大阪府民共済生活協同組合による「子どもへの体力・健康づくり」として、

にっこりキッズキャンペーン

台風13号が日本海に抜けた9月18日(祝)10時から、学校法人・天満学院創立70周年記念教育事業のひとつとして、清滝入本・ツツヒルズにて、名付けて、府民の森・緑の文化園の一部に硬式野球場、テニスコート12面、研修棟があり、更なる充実のため増設された全面天然芝化されたサッカー場で、大成学院大学高等学校・中学校主催で小・中生対象のサッカークリニックを開催した。このスポーツ施設は、本学園だけでなく広く地域に開放し、緑の文化園の趣旨に基づいて、健康とスポーツ文化の

大成学院大学高等学校

矢野選手がババシで銅メダル

バンパシフィック選手権

女子2000m個人メドレー
矢野理江 **銅メダル**
(日本高校新記録)

女子800m自由形
矢野理江 4位
矢野理江 4位
矢野選手は「アジア選手権」(カタール)、「世界選手権」(オーストラリア)の日本代表に決定。

全国高校総合体育大会

水泳

学校対抗得点 男子総合3位
男子400mドレーリレー
優勝(氏林、久保、倉西、長田) 男子400mドレーリレー 3位
(入谷、長田、堀部、倉西)

男子800mドレーリレー 4位入谷、品川、堀部、長田、男子1000mバタフライ、倉西孝幸 3位、男子2000m自由形、松井力 3位、男子2000m自由形、久保大樹 6位、男子1000m背泳ぎ、松井力 7位、女子400mドレーリレー、4位池田、山口、松田、上田、女子400mドレーリレー、4位三浦、宮城、富部、上田、女子800m自由形、富部加奈子 **優勝**、甲斐成美 7位、女子400m自由形、富部加奈子 2



女子やり投げ 2位の助永選手

興隆に寄与する目的の施設である。開設セレモニーでは足立喜典理事長の「お祝い」と歓迎のことば、のあとの河内耕一郎敬語から副島博志監督と3名の講師が紹介された。参加した180名の小・中生がすばらしい全面天然芝の感触を心ゆくまで味わいながら思いっきりボールを追いかけて、プロが賞賛するほどのピッチ(副島監督の評價)で、予定時間を超過して昼12時半に、感動と賞賛のなかで終えることができた。

9月30日から兵庫県内を中心に開催された「のじきく88」に出場した大阪府の選手団38競技のうち、大成学院大高から4競技(陸上、競泳、体操、剣道)に20人の選手が出場し、活躍が期待される。

第61回国民体育大会